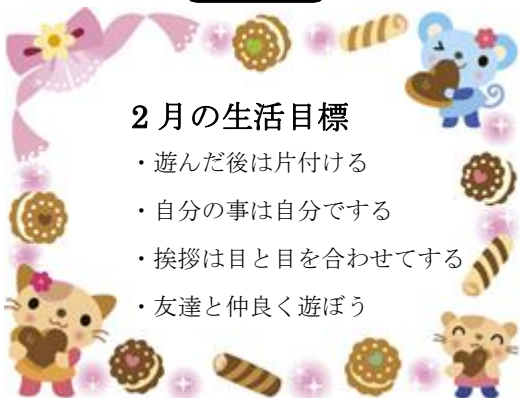


永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
令和4年2月発行・第178号
認定こども園西九州大学附属 三光保育園
TEL:0952-31-6877



2月の生活目標

- ・遊んだ後は片付ける
- ・自分の事は自分でする
- ・挨拶は目と目を合わせてする
- ・友達と仲良く遊ぼう

「新型コロナウイルス感染拡大！」

お正月を2年ぶりに家族と過ごし、心が癒された方々も多くおられたことと思います。その楽しい時間が終わるや否や感染者が類を見ない勢いで増え続けています。佐賀市内の多くの乳幼児施設でも感染者の対応に追われるようになってきました。事例を検証していくと、感染者の子どもは大人の濃厚接触による発症です。また、保育者の感染も原因がわからないほど曖昧です。誰でもどこでも感染する可能性があるというのが本音のようです。

このような時、どうしたらいいのでしょうか？私達は、先に経験した園の先生たちの事例を参考にさせてもらっています。今回、頂いた助言は、「コロナは誰でもが罹りうる感染症です。偏見や差別が生じないように、もし自分だったら・・・!と、置き換えて冷静な対応を心がけましょう」でした。私達、現場にいる者にとって、心に響く助言でした。

ぽぽらをやむを得ず活動休止にしておりますが、再開の折には、今回の経験談を持ち寄り、いざという時のために考える時間が作れるよう願っております。今しばらく、みんなで我慢の時を乗り越えましょう。

(三光保育園園長)

1月の支援活動は、新型コロナウイルス感染症拡大により、途中で中止させていただきました。予約していただいた皆様には大変申し訳なく思います。また、引き続き2月も中止とさせていただきます。どうぞご理解の程、宜しく願いいたします。また、今後も安全に子育て支援の活動を続けさせていただくためにも、感染対策を十分にいただき、少しでも体調不良がありましたら来園をご遠慮していただく等、ご配慮をよろしく願いいたします。

「シニアサロンぽぽら」

子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き、楽しいひと時を過ごしています。しかし、2月は中止とさせていただきます。3月18日(金)1年のまとめ

3月の「子育て支援事業」のお知らせ

- ・3月7日(月)・・・フリーディ
- ・3月8日(火)・・・フリーディ
- ・3月11日(金)・・・フリーディ
- ・3月15日(火)・・・なかよしミックス
- ・3月16日(水)・・・なかよしミックス

※時間：10時～11時

※開催場所：子育て支援センター・運動場・他施設(公園等)

※事前の電話での申し込みが必要です。

3月分の申し込みは、3/1～9時半～17時です。

★新型コロナウイルス感染状況により、計画を変更する場合があります。出かける前に必ずホームページで確認してください。感染症対策にもご協力ください。

※平常時は下記のような支援も行っております。しかし、時節柄2月の利用はご遠慮ください。電話での子育て相談は受け付けておりますので、ご利用下さい♪

♪育児相談・食育相談♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。

※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短大部教員による食育相談を行っています。

さんこう・ぽぽら開放の時間帯について

【開園日】月～金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】9:00～12:30

- ・園行事の為、ご利用できない場合があります。
- ・出前支援の場合は、担当職員が不在になります。
12:30～13:30
昼休みの為閉園
13:30～16:00
- ・ご利用の場合は、電話での申し込みが必要です。

★子育て支援の公式LINEアカウントができました。ぜひ来園時にご登録ください。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

「デジタルの体験、アナログの体験」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科 川邊浩史

新型コロナウイルス感染症で悩まされて2年以上が経過しました。よくメディアで「新しい生活様式」と言われます。私たち大学教員という職種もその影響を受け、オンライン授業を体験（体感）し、今では当たり前のように多くの先生方がオンライン授業をされています。次から次へとやってくる使い勝手の難しい（私が思っているだけかもしれませんが）、ソフトを何とか使いこなしているような状態です。

さて、このような「3密にならない」生活スタイルですが、子どもたちの体験にどのような影響があるのでしょうか。私自身はPC、デジタル機器の専門家ではありませんので、言いたい放題かもしれませんが、少しだけお付き合いください。

今、子どもたちに一人一台でPCが配布されています。私の娘も最近では調べ物学習としてPC（実際はインターネットが多い）を使う機会が増えてきています。時々、イメージを語られ、「お父さん、私のイメージ通りに写真を配置してくれ」とか、「もっと大きく表して」などの注文が舞い込みます。これも父親の役割と自分に言い聞かせ、いっしょに作業しています。

ここで一つのこと気づきました。デジタルとアナログって実はそんなに変わらないのではないかということです。使っているのはPCだったり、そして最近我が家が手に入れたVRゴーグル（バーチャルゴーグル）、そしてタブレット、なぜかいつもソフトを共有して、最後には現実場面で「あーでもない」「こーでもない」と話が始まります。そうなんです。デジタルを使ってアナログな生活をしていることに気付いたのです。

ある会で、ある校長先生が「ICTばかりが注目されているが、実はそれを通して、様々な子ども同士の体験をしている」「まるで体験活動をしている時のような表情をしている」とおっしゃっているのを耳にしました。

【私からのご提案です】

ずっとスマホを使っていたり、〇〇チューブを見てばかりいると大変ですし、おうちでお子さんのしつけに奮闘されている保護者の方の苦労は計り知れません。しかし、すでにデジタルなしでは生活はできなくなっています。でしたら、むしろ、デジタルだから、アナログだから、と切り離して考えるのではなく、二つをうまく使って、たくさんのコミュニケーションや体験ができるように考えていきませんか？